

収蔵品展「特集 頼山陽と3人の息子たち」を開催中です！

- ^{らいさんよう}頼山陽とその3人の息子である^{いつあん}頼聿庵・^{しほう}支峰・^{みきさぶろう}三樹三郎の書画を一挙公開。
頼山陽親子の個性あふれる書画の世界を、会場で存分に体感していただきます。
- 頼支峰・三樹三郎の書画2点を初公開！

展示会の概要

1 趣旨

江戸時代後期を代表する文人である頼山陽を父にもつ、頼聿庵・支峰・三樹三郎。

この3人の息子たちは、頼家の子弟として幼少時より書や漢詩をよく学びますが、その書体は、兄弟でありながら、幼少時に置かれた環境やそれぞれの個性を反映して、実に様々です。

本展では、当館初公開の作品も交えながら、頼山陽と3人の息子たちの書画を一挙公開し、個性あふれる書画の世界を会場で存分に体感していただきます。

2 会期

4月4日(木)～5月26日(日)

[開館時間] 9:30～17:00(入館は16:30まで)

[休館日] 月曜日(祝休日の場合は開館し、翌平日が休館)

3 会場

頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5番15号) 展示室2

4 入館料

常設展の料金で御覧いただけます。

一般 200円(160円)、大学生 150円(120円)

高校生以下・満65歳以上 無料

※()内は20名以上の団体料金

5 関連行事

展示解説会 ～展示の見どころを学芸員が分かりやすく解説します。

[日時] 5月4日(土・祝)、5月18日(土) いずれも13:30～



「墨竹図」
(頼三樹三郎筆、頼山陽記念文化財団蔵、当館寄託)

頼三樹三郎が描いた竹の絵に、三樹三郎が賛を記した作品は初公開です。